

学 科	保育臨床専攻	担 当 教 員	長 櫓 涼 子		
授 業 科 目	発達心理学特論	科目区分	専門科目	2 単 位	
必修・選択	必修	授業形態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>生涯発達を踏まえ、身体、知覚、記憶・認知、知能・思考、言語・コミュニケーション、社会性、親密性、パーソナリティの発達の様相を学ぶ。子ども達の将来的な成長や発達の見通しを持ちながら関わることや、発達に見合った関わりがもたらす学習効果について理解することを目標とする。</p> <p><到達目標></p> <p>(1) 生涯発達の基礎理論をもとに、人の発達過程を理解できる。</p> <p>(2) 各発達段階の特徴を踏まえ、保育の中で見通しを持った子どもとの関わりを想定できる。</p> <p>(3) 発達を踏まえた保育者の関わりが子どもに与える学習効果を考えられる。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯発達の視点と保育・幼児教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) シラバスを参考に授業内容と進め方、評価方法等を解説 (2) 生涯発達とは (3) 発達段階のおさらい (4) 生涯発達の視点から捉える乳幼児期の重要性について 2. 生涯発達の基礎課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 発達の連続性と非連続性 (2) 発達の規定因 (3) 発達観について 3. 身体の生涯発達—① <ol style="list-style-type: none"> (1) 器官の成長・衰退・器官差 (2) 身長と体重の変化 (3) 性差 4. 身体の生涯発達—② <ol style="list-style-type: none"> (1) 粗大運動と微細運動の発達 (2) 脳神経系の発達 (3) 身体の異常 (先天異常/生活習慣病) 5. 知覚の生涯発達—① <ol style="list-style-type: none"> (1) 視覚の発達と低下 (2) 聴覚の発達と低下 (3) 触覚の発達と低下 6. 知覚の生涯発達—② <ol style="list-style-type: none"> (1) 触覚の発達と低下 (2) 味覚・臭覚の発達と低下 (3) 感覚の統合 7. 記憶・認知の生涯発達 <ol style="list-style-type: none"> (1) 記憶の萌芽 (2) 表象機能の発達 (3) 自己中心性/自己中心性からの脱却 (4) 記憶と認知の完成 8. 知能・思考の生涯発達—① <ol style="list-style-type: none"> (1) 知能とは何か/思考とは何か (2) 表象的思考の発達 (3) 素朴理論の発達 9. 知能・思考の生涯発達—② <ol style="list-style-type: none"> (1) 読み書き能力の発達 (2) 自律的な課題解決の発達 (3) 論理的思考・批判的思考の発達 10. 言語・コミュニケーションの生涯発達 <ol style="list-style-type: none"> (1) 言語獲得とコミュニケーションの発達 (2) 原初的なコミュニケーション (3) 言語を超えたつながり (4) 文章作成と主体/文章作成とアイデンティティ 11. 親密性の生涯発達—① <ol style="list-style-type: none"> (1) 親密性とは (2) 養育者との関係 (3) 親しい友人関係の形成 12. 親密性の生涯発達—② <ol style="list-style-type: none"> (1) 異性との関係 (2) 家族としてつながる (3) 守られる立場から守る立場へ 13. 社会性の生涯発達 <ol style="list-style-type: none"> (1) 身近な大人の影響力 (2) 仲間の影響力 (2) メディアの影響力 14. パーソナリティの生涯発達 <ol style="list-style-type: none"> (1) パーソナリティの5つの原理 (2) 気質とパーソナリティ (3) 価値観 (4) 自己概念 15. まとめ、定期試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	西村純一・平野真理 (編) 『生涯発達心理学』 ナカニシヤ出版/ISBN9784779513435 『保育所保育指針』 フレーベル館/ISBN978-4-577-81423-9 『幼稚園教育要領』 フレーベル館/ISBN978-4-577-81422-2 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館 ISBN978-4-577-81424-6 その他適宜資料配布。				
準備学習の 具体的内容	テキストおよび授業資料について予習・復習をする。 これまでに単位修得した発達心理学関連領域の復習をする。				
評価の方法 基 準	定期試験(85%) 授業毎に提出する小レポート (15%)				
履 修 上 の 注 意	授業内容に関連して授業時間外での予習・復習が必要となる。 初回授業でシラバスを使用する。				